



# たはらトピックス

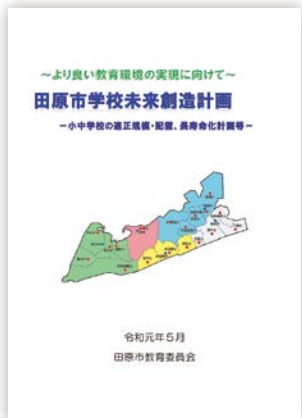
## より良い教育環境の実現に向けて 学校未来創造計画を策定しました

①006312

### 平

成26年12月に田原市教育委員会会で策定した学校全体配置計画に基づき学校再編を進める中で、児童生徒・学校・地域・財政上への影響、廃校施設の利活用など、さまざまな課題が見えてきました。

そのため、平成29年度から田原市学校未来創造計画検討委員会を設置し、学校全体配置計画の見直しをするともに、学校施設の長寿命化計画も盛り込み、子どもたちにとってより良い教育環境の整備と魅力ある学校づくりのため、**田原市学校未来創造計画**を策定しました。



### ◆今後の学校再編の進め方

学校再編は、学級数や児童生徒数が基準を満たさない学校であっても、直ちに統廃合の検討に入るのではなく、教育環境の改善に向けた方策の検討や実施を行い、その後の推移を見守りながら柔軟に対応していきます。

なお、泉中学校と赤羽根中学校は、令和3年度の統合に向け、引き続き協議を進めていきます。

### ◆学校施設の長寿命化

現在市内の学校施設では築30年以上のものが60%を占め、老朽化が顕著に現れています。

この現状を受け、建て替えなどの改築中心の従来型管理からの転換を図り、財政状況を考慮した上で、従来の建物が長く利用できるよう、教育環境の改善や社会的ニーズに対応するための長寿命化改修を行っていきます。

また、築40年を超え劣化が著しい建物は従来どおり大規模改修な

どで対応していきます。

### ◆当面の検討課題

これから計画を進めていく上で、できるだけ早い段階から検討していく必要のある課題は学校プールのあり方とスクールバスの運用の2点です。

現在の学校プールは、築40年を経過したものが全体の46%を占めています。校舎や体育館などの教育施設の整備と併せて、プールの老朽化対策を進めることは容易ではありません。そのため、プールの集約化を図り、近隣校や民間プールを利用した授業の検討や、将来的には、年間利用が可能な屋内型市民プールの整備の可能性などを含め**学校プール再編方針**を検討していきます。



▲老朽化が進むプール

スクールバスは、現在7台を委託業務で運行していますが、2年後に控えた泉中学校と赤羽根中学校の統合後はさらに台数が増加します。このスクールバスを直営にすることで、登下校時以外にプール授業や校外授業、部活動などの移動手段に利用可能となります。今後、導入効果も踏まえスクールバスの直営に向けた運用方法を検討していきます。



▲スクールバスを利用して登下校する児童

本計画は、子どもたちの教育を最優先に考えたもので、地域や学校とも連携を図りながら、未来を担う子どもたちの学校を、より良い教育環境にしていくことを目的とし、5年毎に見直しを行っていきます。

▼教育総務課 ☎2335330